

取扱説明書

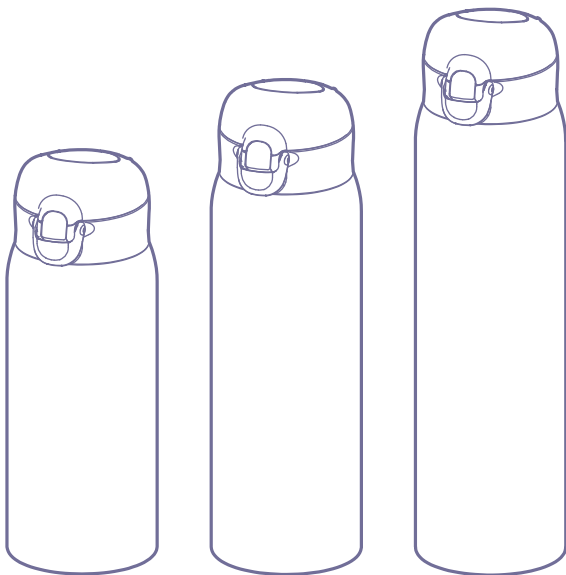
このたびは、オルゴ ステンレスマグボトル【ワンタッチ栓】をお買い上げいただきありがとうございます。
この製品を正しくお使いいただくために、ご使用にあたっては必ず取扱説明書をお読みください。お読みいただいたあとは大切に保管して、ご使用上で分からない点や不具合な点が生じた場合はお確かめください。

※ご使用前に、必ず各部品が揃っている事をご確認ください。



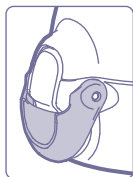
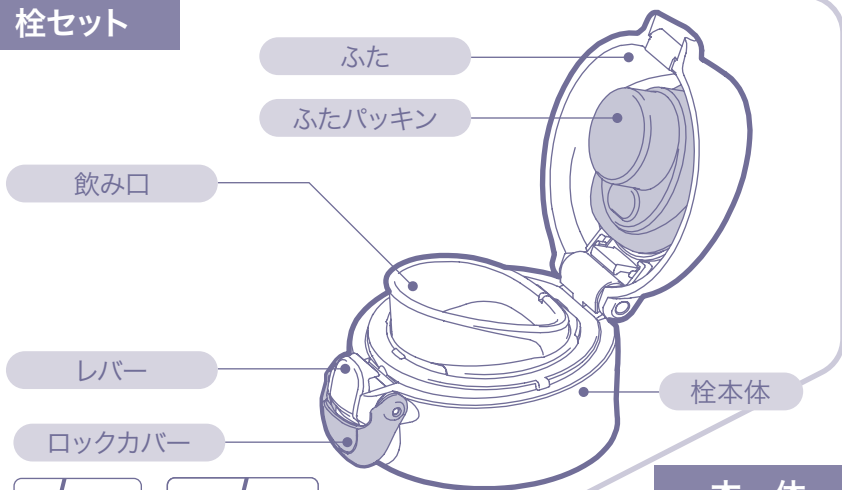
ステンレス製
まほうびん構造

保温
保冷

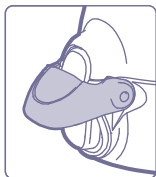


各部の名称とはたらき

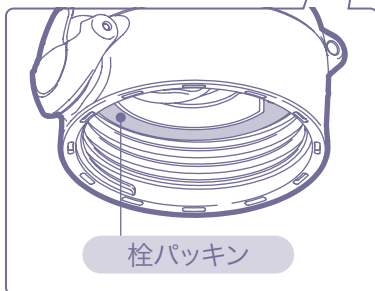
栓セット



ロック状態

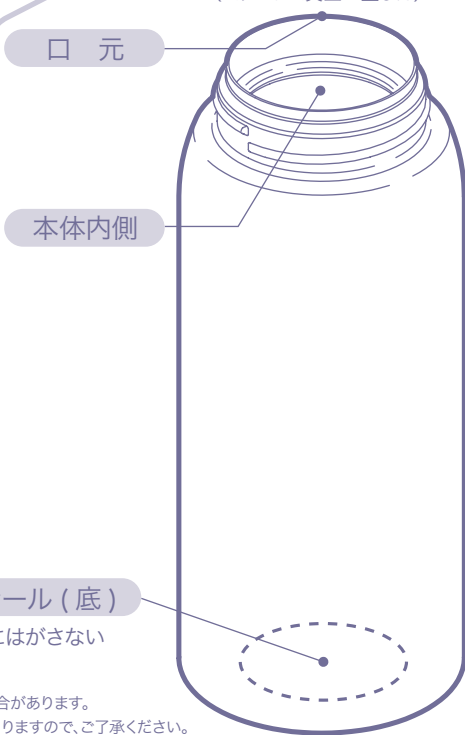


ロック解除状態



本体

(ステンレス真空二重びん)



※本体の図はMBK-400のもので、品番により、多少外観が異なる場合があります。

※品質向上・改良のため、予告なく機構、デザイン等を変更することがありますので、ご了承ください。

必ずお守りください。

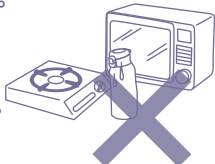
- 乳幼児の手の届く所には置かない。いたずらには充分注意する。
けがの原因となります。



- 熱い飲料物を入れた場合は、ゆっくりと傾け注意して飲む。
やけどなど危険です。



- 電子レンジで加熱したり、冷蔵庫・冷凍庫で冷やしたりしない。また、ストーブやコンロなどの火のそばに近づけない。
レンジ内での発火・故障の原因となり危険です。また、漏れや変形・破損の原因になります。



- 飲料物を入れるときは、栓セットを外してから入れる。また、熱いものを入れる場合には、本体や口元にやかんなどが当たらないよう注意する。
飲料物があふれて他の物を汚したり、転倒してやけどをする原因になります。



- 製品を横置きにしたまま放置しない。
漏れる恐れがあります。



- 飲料物を入れたときは、横転させない。また倒したり落したりぶつけたり、強い振動(特に上下の振動)や衝撃を加えない。
変形して保温・保冷効力が損なわれたり、飲料物が出て他のものを汚したり、破損する原因となります。



- 傾けた状態や、顔の近くでふたを開けない。
飲料物が急に出たり、飛び散るなど、やけどや他のものを汚す原因になります。



- バッグなどに入れる時は、本体を縦にする。また、パソコン・携帯電話などの精密機器と一緒に持ち運ばない。
飲料物が漏れた場合、バッグ内を汚したり、精密機器の故障の原因となります。



- 次のものは絶対に入れない。

- **ドライアイス・炭酸飲料や牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの**

成分に含まれる炭酸ガスや、腐敗により発生したガスにより、内圧が上がり飲料物が吹き出したり、ふたなどが破損する恐れがあります。

- **みそ汁・スープなど塩分を多く含んだもの**

本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、長時間放置したり、成分が付着したままになっているとサビが発生し、保温・保冷効力が損なわれるおそれがあります。

- **果肉・お茶の葉**

詰まったり、漏れの原因になります。

- この製品は、飲料物を入れての保温・保冷を目的としたものです。
- 漏れやあふれは、他のものを汚す原因となります。
- ご使用になるときは、飲料物の変質・変色、製品の故障や汚れを防ぐために、下記の事は必ずお守りください。

- 本体底に貼ってある保護シールは絶対にはがさない。**

保温保冷効果が損なわれるおそれがあります。さびや穴あきなど故障の原因になります。

- 自動車や自転車運転中は使用しない。**

自動車用の缶ホルダーに置く場合は、取り付け強度及び本体がホルダーに安定して収まる事を確認する。市販の缶ホルダーを使用する場合は、据え置き型を使用する。また、飲料物が漏れたりしないようふたを確実に閉める。

事故ややけどの原因となり非常に危険です。また、車内や他のものを汚す原因となります。つり下げ型の缶ホルダーを使用すると外れる恐れがあります。

- 使用後は栓セット・本体内側をよく洗う。また、飲料物を入れてのまま長時間放置しない。**

腐敗によりガスが発生して内圧が上がり、飲料物が吹き出したり破損する恐れがあります。

- 熱い飲料物を入れた場合は、振らない。**

内圧が上がり、勢よくふたが開いたりして、飲料物が飛び散る恐れがあります。

- 本体の丸洗いはできませんが、つけ置き洗い(水中に放置)は絶対にしない。**

水が侵入し、サビが発生することにより、保温・保冷効力が損なわれたり、印刷・塗装のはがれ、他のものを汚す原因になります。

- 飲料物の量は口元より約1cm下で止める。**

入れすぎると栓セット及びふたを閉めたときに飲料物があふれる恐れがあります。

- ご使用の際は、各パッキンが正確に取り付けられている事を確かめ、栓セット及びふたを確実に閉める。**

パッキンが取り付けられていなかったり、栓セットの閉め方がゆるいと漏れの原因になります。

- 飲み終わったら放置せずにふたを閉める。また、持ち運ぶ時は必ずロックをする。**

転倒や、誤作動により漏れややけどの原因になります。

- 飲料物の保温・保冷以外の用途に使わない。**

- 熱湯での洗浄や煮沸洗浄、食器洗浄機や食器乾燥機の使用はしない。**

熱により部品が変形し、漏れ等故障の原因になります。

- シンナー・ベンジン・化学ぞうきん・みがき粉・たわし・クレンザーなど、台所用中性洗剤以外の洗剤や塩素系漂白剤などは使用しない。**

キズがついたり、破損の原因になります。

- お客様での分解修理は絶対にしない。**

事故や故障の原因になります。

- 栓本体やふたを持って移動しない。**

本体から外れて落下するなど危険です。

使用上のご注意とお願い

- 使用前や持ち運ぶときは、ふたを下に向け、漏れないか確かめてください。**

- 氷を入れるときは、先に飲料物を入れ、静かに入れてください。また、氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてください。**

- ふたを閉めるとき、飲み口に飲料物が残っている場合はふきとってください。**

漏れるおそれがあります。

- 冷たい飲料物を入れたとき、湿度が高いときは栓セットに水滴がつく場合があります。**

- 熱いお茶を長時間保温すると、色や風味が変わります。お出かけの際は、ティーバッグのご使用をおすすめします。ティーバッグを入れたまま栓セットを取り付けしないでください。**

正しい使い方

● 初めて使うとき。

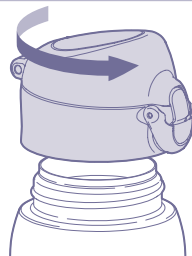
パッキン及び、各部品が確実に付いていることを確認する。
材料特有のにおいがする場合は、お手入れの方法に従って洗浄してください。

① 本体から栓セットを外す。

- ・ 本体を持ち、栓セットを矢印の方向へ回して外す。

[注意]

飲料物が入っているときは、本体を傾けないよう飲み口を上に向けた状態で外してください。



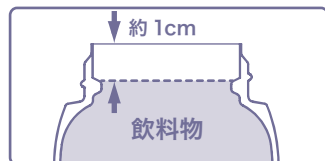
② 飲料物を入れる。

- ・ 飲料物の量は、図のように内径が狭くなる部分の上（口元より約1cm）で止める。

[注意]

- ・ 入れすぎると、ふたを閉めたときにあふれる事があります。
- ・ 栓セットが付いたまま飲料物を入れると、飲料物があふれてやけどや他のものを汚す原因になります。

飲料物を入れる前にあらかじめ少量の熱湯（保温の場合）または冷水（保冷の場合）を入れ、約1分ほど予熱・予冷しておくことより効果的です。

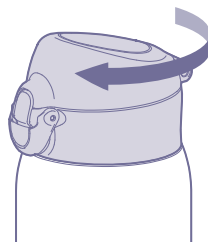


③ 栓セットを閉める。

- ・ 栓セットのふたを閉め、ロックカバーがロック状態になっている事を確認してから、栓セットを矢印の方向へ回して閉める。

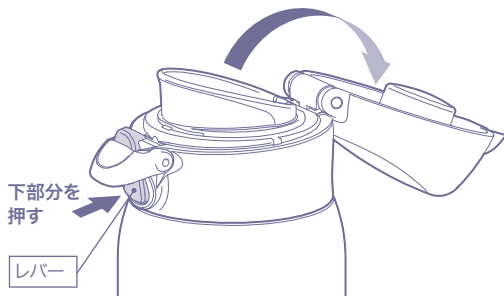
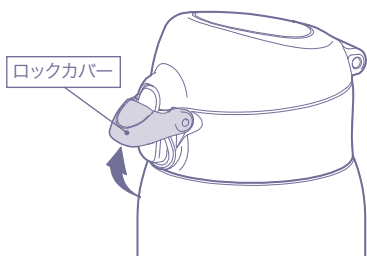
[注意]

- ・ 栓セットが回らなくなるまで確実に閉めてください。
- ・ 閉めた後は本体を逆さにして軽く振り、漏れがない事を確認してください。



4 ふたを開ける。

1. 本体を立てた状態で、ロックカバーを持ち上げ、ロックを解除する。
2. 図のように、レバーの下部分を押し、ふたを開ける。



[注意]

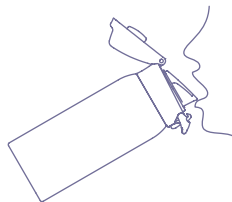
- ・ 本体を傾けた状態でふたを開けないでください。
- ・ 飲み口やふたパッキンに付着した水滴が飛散する事があります。
- ・ 熱い飲料物を入れてふたを開けたときは、内圧により「ボン」と音がする事があります。
- ・ 熱い飲料物を入れたときは振らないでください。内圧が上がるとふたが開いたりしてやけどや他のものを汚す原因になります。

5 飲料物を飲む。

- ・ 飲み口に口を付け、本体をゆっくり傾けて飲む。

[注意]

本体を急に傾けると、飲料物が勢いよく飛び出してやけどや他のものを汚す原因となりますのでご注意ください。

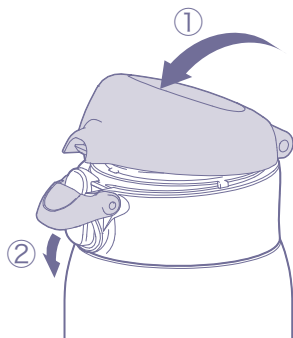


6 飲み終わったら、ふたを閉める。

1. 本体を立てた状態で「カチッ」と音がするまでふたを閉める。
2. ロックカバーを下げて確実にロックする。

[注意]

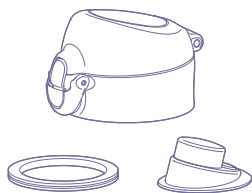
- ・ ふたを開けたまま放置しないでください。
- ・ 持ち運ぶときは、必ずロックされている事を確認してください。



お手入れの方法 1

- 残った飲料物を捨て、毎日簡単なお手入れをしていただくことが、いつまでも清潔にご愛用いただくコツです。
- お手入れをおこたったり、飲料物を長い間入れたままにしておきますと、汚れが落ちにくくなります。
- 食器洗浄機・食器乾燥機などの使用はしないでください。変形や、漏れの原因になります。
- シンナー、ベンジン、化学ぞうきん、みがき粉、たわし、クレンザーなど、台所用中性洗剤以外の洗剤や塩素系漂白剤は使用しないでください。キズがついたり、変形・変色、破損の原因になります。
- スポンジや布は柔らかいものを使用してください。
- お茶、又は糖分や塩分を含んだものを入れた後は、充分にお手入れをしてください。

栓セット



- ①お手入れの際は、栓セットに取り付けられている各パッキンを外してお手入れしてください。パッキンを傷つけないようご注意ください。
- ②お湯でうすめた台所用中性洗剤をスポンジに含ませ、ていねいに洗ったあと、流水でよくすすぎ、ふたを開けた状態で栓セットをよく振り水分を拭き取って充分に乾燥させてください。
- ③お手入れの後は、各パッキンを正しく取り付けてください。
 - ・つけ置き洗い(水中に放置)はしないでください。
 - ・飲み口等が汚れていたり異物が付着したままになっていると、漏れの原因になりますので、飲み口等の汚れをきれいにふきとってください。

パッキン(ゴム製部品)について

この製品には2種類のパッキン(ゴム製部品)が取り付けられています。お手入れの際は、下記手順に従って、各パッキンを正しく付け外してください。パッキンが正しく取り付けられていないと、漏れなどの原因になります。また、お茶・コーヒー等の濃い色の飲料物を入れると、パッキンは着色します。汚れが目立ってきたら 交換をおすすめします。

パッキンの取り付け方

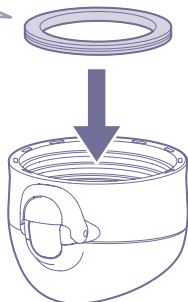
栓パッキン

断面図

きっちりとはめ込む

パッキン

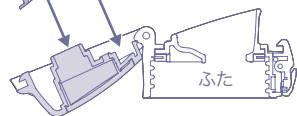
栓本体



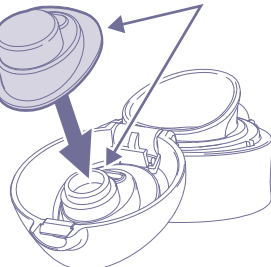
ふたパッキン

パッキン

断面図



位置を合わせる



※栓セット・各パッキンは消耗品です。一年をめやすにご確認ください。消耗のある場合は、品番・パーツ名・色柄をご確認の上、お買い上げの販売店又は当社のお客相談室までご連絡いただくか、当社ホームページのお客サポート(消耗品パーツの購入)よりお買い求めください。

お手入れの方法 2

本体・本体内側



- ・ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤をスポンジに含ませ、ていねいに洗ったあと、流水でよくすすぎ、水分をふきとって充分乾燥させてください。つけ置き洗い(水中に放置)はしないでください。

本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、水質や不純物などにより「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」が付着する場合があります。
このような場合は、市販のクエン酸(約5g)をぬるま湯でうすめて入れ、約30分～1時間放置した後柔らかいブラシなどできれいに洗い、水で十分にすすいでください。

こんなときは…

長期間使用しないとき	・ 栓セット・本体の汚れを落とし、乾いた布で拭き、自然乾燥させてください。
栓セットから飲料物が漏れる	・ 各パッキンの取付方向や位置、浮きが無いか確認してください。 ・ 栓セットや各パッキンが汚れていないか確認してください。 ・ 飲料物を入れすぎていないか確認してください。
本体や栓セットからにおいがする	・ 本体内側や栓セットに汚れが付着していないか確認してください。
保温・保冷がきかない	・ 十分に熱い(冷たい)飲料物を入れているか確認してください。 本体内側を予熱(予冷)をすると効果的です。 ・ 本体内の飲料物の量が少なくないか確認してください。 飲料物の量が少ないと、保温・保冷効力が弱くなります。
緑茶などが赤茶色に変色した	・ お早めにお飲みください。お茶を保温すると、お茶の成分が変化して色が変わる場合がありますが、人体に害はありません。

お問い合わせ先

お問い合わせ品番

MBK型

品質には万全を期しておりますが、万一不具合な点、その他故障などがございましたら、使用を中止してお求めの販売店か当社お客様相談室までお問い合わせください。お問い合わせの際は、必ず本体底部に記載されている品番をお確かめください。

お客様相談室

TEL : 06-6961-5885 FAX : 06-6969-6692

受付時間 : 9 : 00 ~ 17 : 00 (土・日・祝日・年末年始等を除く)

ホームページからもお問い合わせいただけます。☎ <http://www.allgo.co.jp>

オルゴ株式会社

本社 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1-4-2

ハナテン